

◆ 卒業写真 ◆

リリースが1975年とのことだから、既に半世紀近くの時が流れたことになる。『最後の春休み』とともに未だに色あせないこの季節のエバーグリーン。かつて担任をしていた頃、卒業式後のクラスでの集まりの際、この曲を下手なヴァイオリンで弾いていた。この立場になってからは、同窓会の入会式などで卒業生に向けて弾かせてもらった。本校でも、昨年度、そして今年度も先月末にその機会をいただいた。



昨日の卒業式。式辞の最後にこう入れた。

「…同窓会入会式の折、ユーミンの『卒業写真』を演奏させていただきました。その歌詞のように、「あの頃の生き方を あなたは忘れないで」ほしい。皆さんが手にする卒業アルバムには、皆さんの「あの頃」が詰まっています。苦しくなった時、そして悲しくなった時、この卒業アルバムを開いてください。そこにある友の笑顔と共に、この学舎で過ごした様々な思い出が、きっと皆さんを支えてくれることでしょう。明けない夜はありません。厳しい日々が続いていますが、必ずまた大声で笑い合える日々が戻ってきます。その時は本校を訪れて、新たな「思い出」を話しに来てください。…」

この状況の中、卒業式は短い時間での実施となった。保護者の皆様のご列席も制限せざるを得なかったが、大変温かな雰囲気の中で式が進行できたことを大変うれしく思う。もっと長く、「思い出」に浸ることができる時間を作ってあげたかった。

改めて卒業生の皆さんへ。私と皆さんとのお付き合いは2年間。学校の生活単位としては決して長い時間ではないものだったけれども、この厳しい状況に翻弄されながら、皆さんとたくさんのことを考えさせていただいたという意味では、とても密な時間だったと、今は思える。

この曲の歌詞のように「悲しいことがあ」った時は、卒業アルバムを開いてみよう。今年度のアルバムには、皆さんの本当に素敵な笑顔が見開きページに載っている。心温かくなる時が訪れますように…。

この3年間で、皆さんにとっての「宝物」のようなものであって欲しいと、心から願っています。

ご卒業おめでとう。